

令和5年度 地球環境保全活動支援事業 交付決定一覧(前期)

No.	補助金交付団体	事業の内容 (要約)
1	寒川里山オーナー会 会長 高橋 正明	<ul style="list-style-type: none"> 一般県民(児童や地域住民)を対象とした里山イベントの開催 7月:竹間伐、竹食器づくり・流しそうめん体験 2月下旬:きのこ植菌体験 年間を通して里山作業体験・見学 休耕田を活用した収穫体験、子ども食堂への食材提供
2	香川県立多度津高等学校 校長 琢磨 雅人	<ul style="list-style-type: none"> 90個の水槽で魚類やカメ類、カエル・イモリ、昆虫類等を飼育管理(水槽内の清掃や水替えなど)。 偶数月の第2日曜日、11月の文化祭や近隣の小中学校からの要請で一般公開。 触れる体験やえさやり体験なども実施するなど工夫。 体の形態や生態が異なる生物を展示。絶滅危惧生物とそれらを食害する外来種を並べて展示。
3	植田長春イキイキサロン 代表 秋山史郎	<ul style="list-style-type: none"> 観音寺市植田町内の4か所の神社や天満宮周辺の清掃。年8回以上。落ち葉や雑草で腐葉土を作って環境保全や美化に取り組む。 落ち葉、雑草等、落ち葉雑草等の混合物の3種類の腐葉土作り。EM菌や米糠や鶏糞等を混ぜ合わせて9種類の腐葉土を作って実験。 8月常盤コミュニティセンターで腐葉土づくりの発表会や展示会、2月には植田公民館にて講演会を実施。
4	Gomyo倶楽部 代表 大内 正伸	<ul style="list-style-type: none"> 耕作作業体験(午前は農業ワークショップと野外調理、午後は希少生物などの観察) 4月下旬:田植え準備、ユキモチソウやエビネの観察 5月下旬:田植え、魚類や水棲昆虫の観察、無人カメラによる夜間撮影でイノシシ等の観察 9月下旬:稲刈り、溜池や周辺で生物の採集・観察 12月:土づくり、藁と堆肥を圃田に施し、枯木や竹を使ったネイチャークラフト
5	うどんまるごと循環 コンソーシアム 会長 角田 富雄	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロスに係る講演会(勉強会)またはバイオマス施設見学等の開催(1回)。 ちよだ製作所プラント見学、フードドライブ、うどん手打ち体験、小麦種まき体験ができる「うどんまるごとエコツアー」の開催(1回) 小麦製粉体験やバイオガス生成実験など小学生等の一般市民を対象とした体験学習イベント(1回) 学校への出前教室、親子向け出前講座(1回以上)
6	桃陵八重桜を育てる会 会長 小國 聖治	<ul style="list-style-type: none"> 桃陵公園で発見された新品種の桜「桃陵八重桜」(昨年4月に命名)の接ぎ木による育苗や鉢植え栽培を、合田邸内や町内ボランティアの庭で行う。 桃陵公園植栽予定地の準備(除草、耕耘、堆肥混合)を行い、桃陵公園内への植栽や手入れを行う。新たに少林寺本部での栽培を開始する。 (公財)日本花の会 樹木医田中秀明氏による桜の接ぎ木による育苗や栽培、剪定方法などのワークショップを実施する。
7	ときめき花蝶会 会長 佐藤 健	<ul style="list-style-type: none"> 多度津町西白方地区において、スナビキソウやフジバカマの植栽を行い、飛来するアサギマダラの観察会や「有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会」元会長による講演会を実施する。 また、町木である桜を育苗するため、植栽場所の整備を行う。令和5年度以降に御盤山不動坊参道へ植栽する。 西白方海岸の漂着物、特にプラスチックゴミを回収する等、清掃活動を年4回行う。
8	川西地区地域づくり 推進協議会 会長 岩崎 正朔	<ul style="list-style-type: none"> 緑が多い高木の苗木の植樹 花が咲く樹木の植樹 植樹後の維持管理(水の補給、日除け対策) 子どもたちへの環境学習
9	香川大学たどつまちLabo 代表 石村 英理	<ul style="list-style-type: none"> 地域の未利用資源である竹を活用した循環システムの構築 桃陵公園トンネル付近の放置竹林から竹を切り出す 牡蠣養殖に使用した筏の廃材を回収 竹あかりづくりワークショップ、竹あかりイベントの開催 使用済みの竹あかりを竹炭へ加工し、河川や池の水質改善を図る。 農家に竹炭を利用してもらい土壌改良にも繋げていく。
10	NPO法人 どんぐりネットワー ク 代表 小林 剛	<ul style="list-style-type: none"> ドングリランド内の大径木を切るだけではない森林整備の方法を学び里山整備に関心を持ってもらう。 毎月講座を開催(計11回) 講師:空気の流れと水の流れに着目して地上と地下で滞っている個所を移植ゴテやノコギリで再生していく「大地の再生」に取り組む大内氏。 内容:草刈りや水脈づくり沢の掃除、道具の整備方法等を学び自然と人との共生に興味を持ってもらい、足元からの小さな環境改善に取り組んでもらう。